

キク科 アキノキリンソウ属

総合対策
(重点)

セイタカアワダチソウ (背高泡立草)

Solidago altissima L.

自生環境

河川敷、荒れ地 など

原産地

北アメリカ

予想される被害



一面を覆いつくすような猛烈な繁殖力を持ち、どんな環境でも生育できる適応力があります。そのため、豊かな自然が残された場所に侵入して、希少種の生育を妨げます。

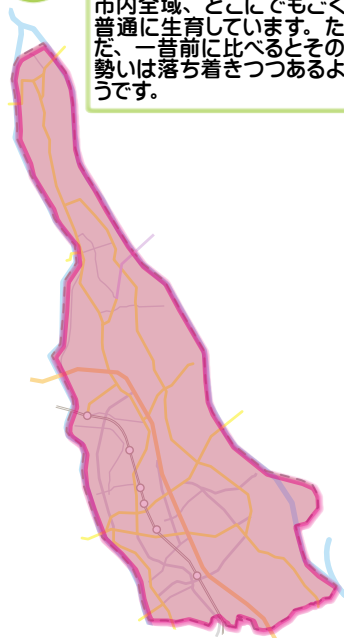
特徴

☆ かつては園芸植物として栽培されたり、花の少ない時期の蜜源植物として養蜂業者が広めようとしたりと、どちらかといえば役に立つ植物としての位置づけでした。しかし、第二次世界大戦後、一気に雑草化し日本全国に広がり、今では荒れ地を覆いつくす勢いで繁茂しています。

☆ 地下茎を張り巡らしながら広がっていく上に、大量の綿毛つきのタネをまき散らし、しかも多年草で株の寿命が長いので、目を見張るような勢いで繁殖していきます。根からは他の植物の生育を抑制する成分を出しますが、自分で出した成分にやられて、勢いは次第に衰えつつあります。

市内の分布状況

市内全域、どこにでもごく普通に生育しています。ただ、一昔前に比べるとその勢いは落ち着きつつあるようです。



濡れ衣を着せられた草

セイタカアワダチソウは、秋にいっせいに開花し、ピーク時には一面が真っ黄色になります。これが花粉を連想させるからでしょうか、かつては花粉症の原因として嫌われていました。ところがセイタカアワダチソウは虫媒花。その花粉はチョウやハチなどの昆虫に託し、空中にまき散らすことはありません。普通に生活している限り、花粉症の原因にはならず、とんだ濡れ衣を着せられた草と言えます。



黄色い菊のような小さな花がびっしり集まっている



1本の茎にびっしりと綿毛つきのタネができる



茎や葉はざらざらしている



冬のあいだも株もとに葉が出ることが多い



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

